

春日高校 CAN-DO リスト  
4 Skills for Kasuga ( Revised in 2022)

			Reading	Listening	Writing	Speaking	
						Interaction	Presentation
			1	2	3	4	5
第1学年	Grade 3	Step 1	70wpmの速度で、日常生活を題材とする文章の大意把握ができ、T/F問題や空所補充式の要約問題を7割の正解率で解ける。	ネイティブ・スピーカーが1文ずつ切ってゆっくり話をすれば、話の内容をおおよそ理解できる。	日常生活における問題について、Topic Sentence, Supporting Sentenceを使い、自分の意見を50語程度の一段落構成の文章で書ける。	日常生活について、応答を促す言葉を用いながら、ペアで1分間程度ディスカッションができる。	主要な発音記号を覚え、単語の発音やアクセントに注意して発話することができ、前もって原稿を準備すれば、50語程度でグループやクラスの前で自己紹介等を行うことができる。
		Step 2	75wpmの速度で、日常生活を題材とする、準動詞等の入った基礎的な構造の文を含む文章を正確に読み取ることができる。	ネイティブ・スピーカーが2~3文ずつ切って話しをすれば、話の内容をおおよそ理解できる。	日常生活における問題について、Topic Sentence, Supporting Sentenceを使い、自分の意見を60語程度の一段落構成の文章で書ける。	日常生活について、賛成・反対に分かれてディスカッションや簡単なディベートができる。	主要な発音記号を覚え、単語の発音、アクセントだけでなく、文のイントネーションにも注意して発話することができ、身近な題材について、即興的に60語程度でグループやクラスの前で発表することができる。
		評価	定期考査	ALTとのTT	Kasuga Task Sheet	Kasuga Task Sheet	パフォーマンステスト
第2学年	Grade 4	Step 3	80wpmの速度で、身近な社会問題を題材とする文章について、段落構成を意識して読み、大意を把握でき、T/F問題や空所補充式の要約問題を7割の正解率で解ける。	身近な社会問題を題材とする30語程度の対話やモノローグを聞いて、大まかな情報をつかむことができる。	身近な社会問題について、Topic Sentence, Supporting Sentenceを使い、基本的なディスコース・マーカ―を用いて、自分の意見を70語程度の二段落構成の文章で書ける。	身近な社会問題について、応答を促す言葉を用いながら、ペアで2分間程度ディスカッションができる。	事前に原稿を準備すれば、アイコンタクト、ジェスチャー、顔の表情などを工夫して、身近な社会問題について70語程度でグループやクラスの前で発表することができる。
		Step 4	85wpmの速度で、身近な社会問題を題材とする、分詞構文、関係詞節、間接疑問文などやや複雑な構造の文を含む文章を正確に読み取ることができる。	身近な社会問題を題材とする50語程度の対話やモノローグを聞いて、大まかな情報をつかむことができる。	身近な社会問題について、Topic Sentence, Supporting Sentenceを使い、事例提示や因果のディスコース・マーカ―を用いて、自分の意見を80語程度の二段落構成の文章で書ける。	身近な社会問題について、賛成・反対に分かれてディスカッションや簡単なディベートができる。	アイコンタクト、ジェスチャー、顔の表情などを工夫して、身近な社会問題について、即興的にグループやクラスの前で発表することができる。また事前に原稿を準備すれば、80語程度で行うことができる。
		評価	定期考査	定期考査でのリスニングテスト	Kasuga Task Sheet	Kasuga Task Sheet	パフォーマンステスト
第3学年	Grade 5	Step 5	90wpmの速度で、抽象的な思考を要する文章を、ディスコース・マーカ―に留意し、段落構成を理解してT/F問題や空所補充式の要約問題を7割の正解率で解ける。	国際的な社会問題などの時事問題を題材とする100語程度のディスカッションやモノローグを聞いて、その概要をとらえることができる。	国際的な社会問題について、Topic Sentence, Supporting Sentenceを使い、対比など多様なディスコース・マーカ―を用いて、自分の意見を100語程度の三、四段落構成の文章で書ける。	国際的な問題について、応答を促す言葉を用いながら、ペアで3分間程度ディスカッションができる。	事前に原稿を準備すれば、アイコンタクト、ジェスチャー、顔の表情などを効果的に用い、国際的な社会問題について、100語程度でグループやクラスの前で発表することができる。
		Step 6	100wpmの速度で、抽象的な思考を要する学術的な文章を、強調構文、倒置、省略、挿入など複雑な構造の文を意識しながら、正確に読み取ることができる。	国際的な社会問題などの時事問題を題材とする200語程度のディスカッションやモノローグを聞いて、その概要をとらえることができる。	国際的な社会問題について、Topic Sentence, Supporting Sentenceを使い、対比など多様なディスコース・マーカ―を用いて、自分の意見を120語程度の三、四段落構成の文章で書ける。	国際的な問題について、賛成・反対に分かれて、例を上げながら二つ以上の根拠を示し、ディスカッションや簡単なディベートができる。	アイコンタクト、ジェスチャー、顔の表情などを工夫して、国際的な問題について、即興的にグループやクラスの前で発表することができる。また事前に原稿を準備すれば120語程度で行うことができる。
		評価	定期考査	定期考査でのリスニングテスト	Kasuga Task Sheet	Kasuga Task Sheet	Kasuga Task Sheet

wpm・・・1分間に内容を理解しながら読める語数    ディスコース・マーカ―・・・段落や文と文のつながりを示す語句    T/F問題・・・True(真)/False(偽)を問う問題